

5月、6月と研究会に向けて、授業者の小島先生、先行授業をしてくださった武田先生、本当にお疲れさまでした。また、中学年ブロックの先生方も何度もブロック研修に参加してご意見をくださったり、研究会の司会をしてくださったりたくさんのご協力をありがとうございました。

「中小Tシャツ売り上げアップ大作戦！」(広告を読みくらべよう)全9時間の学習の中で、学習のねらい、ねらいに向けた学習活動、そのための学習準備など1時間1時間を4年間で練り合いながら研究会に向けて進めてきました。先生方のリフレクションの中にも書かれていたように、今回の授業を通して、今後の授業づくりに向けて大切なことがたくさんあったように思います。その内容を少しまとめておきたいと思います。

その①:学習課題の工夫

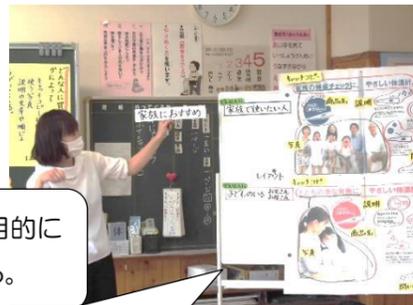
(身近な課題で、本気度UP!)

導入時のPTA会長さんからのメッセージ



中小Tシャツのよさを考え、目的に応じた内容を広告に取り入れる。

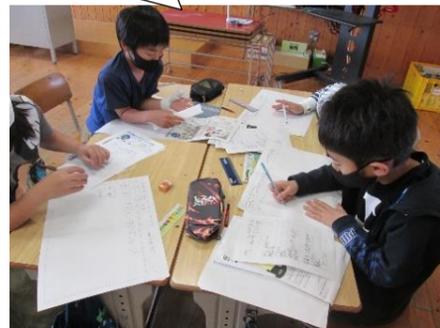
その②:1時間ごとのねらいに向けた学習活動



自分の広告を書くために、教材文の広告と比べながら読む。

その③:児童の主体的な学び

導入時の学習計画だけでなく、広告作りについて子ども達で計画を立てる。



自分の広告を作る中で、友達と交流しながら学習する。(個の学び・協働的な学び)



どんな人に、どんなメッセージを伝えたいか考える。(相手・目的意識)

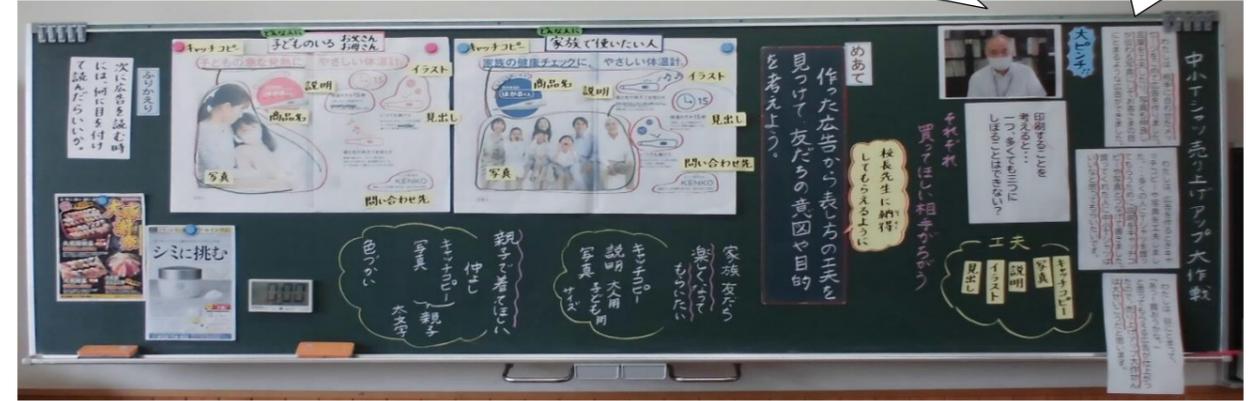


武田先生も1時間1時間板書計画をしっかり立て、先行授業をしてくれました。

本時の板書8/9

学習課題への必然性(校長先生からの提案)を持たせる。

子どもの振り返りを活かす。



授業者のリフレクションシートより

- 主・対** 明確なゴールの設定と、そこに向けて毎時間、子ども達が本気になるような課題を持たせることが大切と思いました。
- 課題** 子どもの立場になり、単元を作っていく。読む・書くに捉われすぎてはいけないことを今回学びました。
- 見・考** 子ども達がこの単元に入るまでにどんな見方・考え方ができるようになっているか、次のどんな学習につながっていくのかを学習指導要領をもとに具体にしていけることが大切だと分かりました。

子ども達が、やる気になるように課題を工夫し、1時間ごとの目標達成に向けて必要なことは何かしっかり考えて学習活動を仕組み、子ども達を主体的に動かしていく小島先生の授業からたくさん学ばせていただきました。そして、小島先生のいつも笑顔で温かく子ども達に関わっている姿、素敵だなと思いました。小島先生、ありがとうございました。

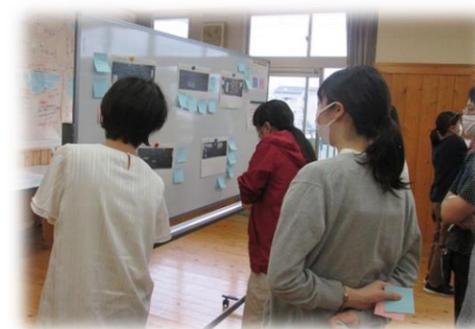
☆板書交流☆



「中村小授業改革2021」の中にもある「板書」について先生方の板書写真をもとに交流をしました。

先生方の工夫した板書から取り入れていきたいことがたくさんあったと思います。

板書する際の留意点として挙げられている児童の思考の流れに沿った構造的な板書、児童を参加させた板書(児童の考えが残る板書⇒児童の考えや方法をカードやホワイトボードに記入させて説明させる。)を目指していきましょう!



板書力とは、単に黒板に正しく文字を書くことができるということではなく、目標や教材を分析する力、指導案や板書計画をつくる力、適切な発問・指示を行って学習を進める力、学習をまとめる力など、授業力に直結している。「授業改革2021」より